

平成 26 年 10 月 15 日
株式会社リサーチ・アンド・ディベロップメント

シニア男性だって家事をする時代に 家事の担い手としての男性 ～ 『R&D シニア基礎研究レポート』より ～

株式会社リサーチ・アンド・ディベロップメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:五十嵐幹)は、生活者総合ライフスタイル調査『CORE』やシニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』などの独自データに加え、国や組織が公開する既存データを盛り込んだ、現在のシニア像を理解するための『R&D 基礎研究レポート』を発行いたしました。

そのレポートから一部結果をご紹介します。

この調査結果のレポート(『R&Dシニア基礎研究レポート』)は 10 月 1 日より標準価格 300,000 円にて販売しております。詳細につきましては弊社HP <http://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

家事分担はリタイヤ男性の大切な役目。

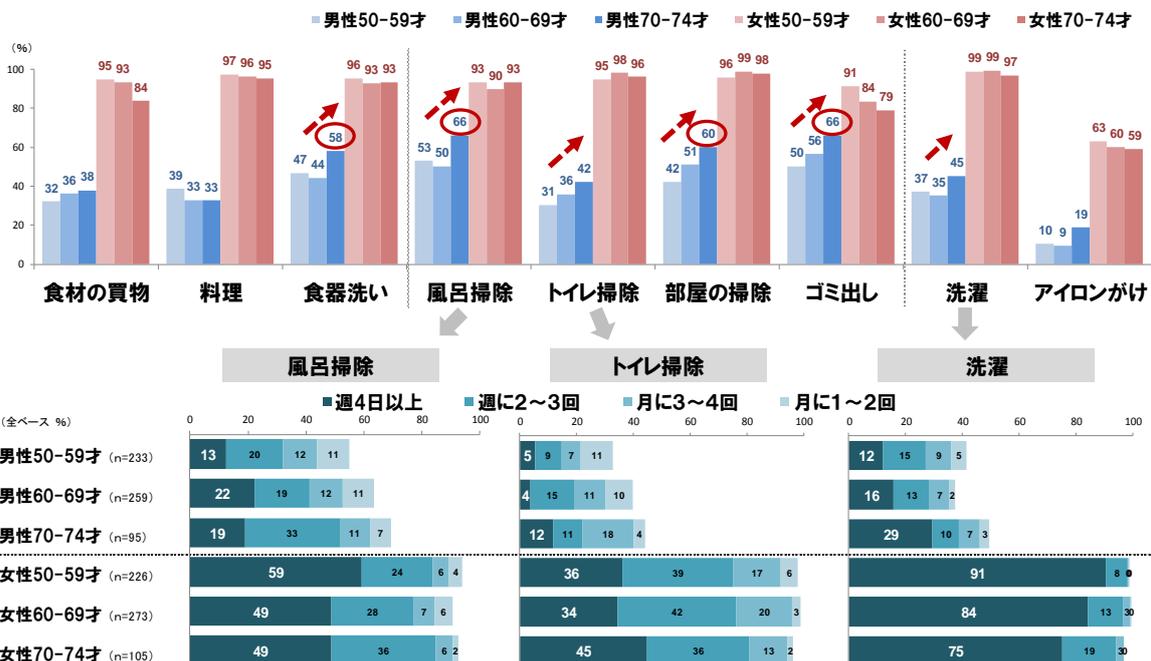
- シニア年代では、男性よりも女性の家事負担が大きいことは事実ですが、年齢があがるに連れて男性の家事負担の割合があがってきています。

- ふだんよくしている家事ではほとどの項目においても、女性は 90%を超える実施率。対して男性の実施率は圧倒的に低い。
- しかしながら、多くの項目で男性は年齢があがるにつれて実施率が高まっている。

- 特に「風呂掃除」「部屋の掃除」はリタイヤ男性の重要な役目になっています。

- 「風呂掃除」や「ゴミ出し」、「部屋の掃除」は、70代男性になると実施率が5割を超える。
- 「料理」の実施率は増えないが、「食器洗い」の実施率は増えている。

<ふだんよくしている家事と実施頻度>



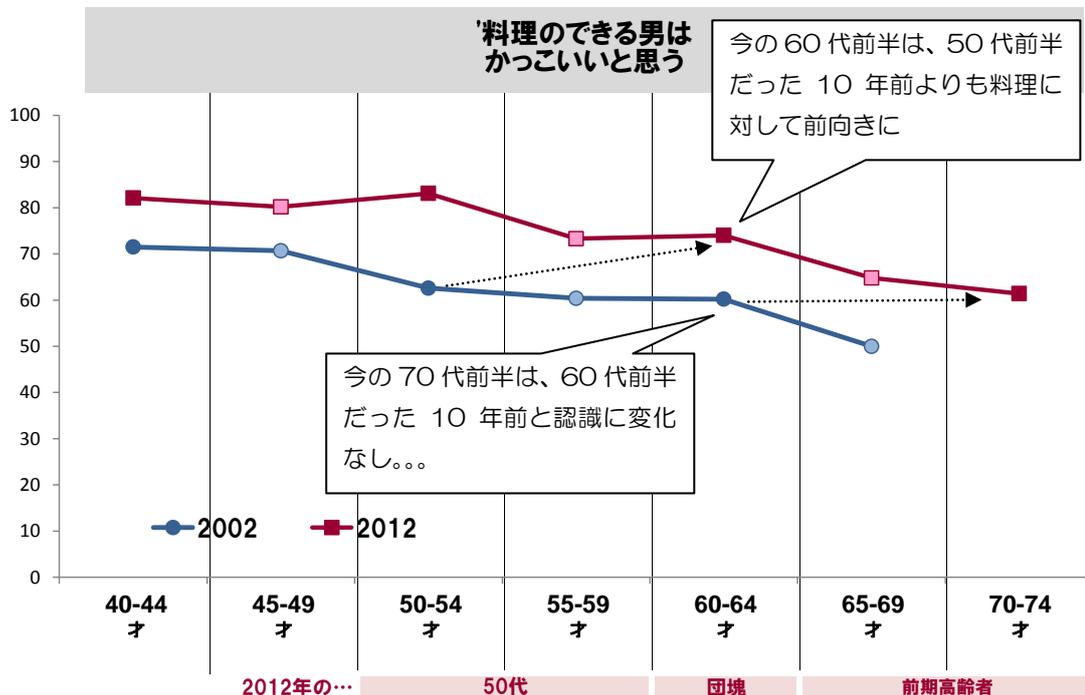
※『CORE2013 (2012.10)』より

シニア層における「男の料理」に対する意識は変わりつつある。

- 65 歳以上ではまだ「男の料理」に対する固定観念があるようですが、今の団塊世代以下の層では、男性の料理にポジティブになっています。
 - 「料理のできる男はカッコいいと思う」という問に対し、年代があがるにつれて反応が低くなるのは今(2012年)も10年前(2002年)も同様の傾向。
 - 今の70代前半の意識レベルは10年前(60代前半のとき)から変化なく推移。
 - しかしながら、70歳未満ではその意識レベルに上昇傾向がみられ、意識の変化がうかがわれる。

<食に関する意識>

(%)



*機R&D 「CORE2012」「同2002」より

R&D 発 シニアインサイト

◇「仕事」から「家事」へ…リタイア後、自分が向き合うべきものは何かを、現代のシニア男性は、柔軟に受け入れるようになってきているように思います。家事の中でもクリエイティブ性のある「料理」は、新しいスキルを身に付ける感覚でチャレンジしやすいのかもしれませんが。一方で『iDOBATA』でシニア女性の意見を聞くと、そんな気持ちを読んでいるからか、「やらせて」「ほめる」ことで家事分担を定着させているようです。

◇これから増えると思われる家事スキルの高いシニア男性…家電や食品、トイレタリーの選び方、選ばれ方にも変化が出てくるかもしれません。ターゲットとしてこの層の意識をみておくことも必要ではないでしょうか。

■生活者総合ライフスタイル調査システム『CORE』■

- 調査エリア 首都圏 40km圏
- 調査手法 訪問留置調査(一部郵送調査併用)
- 調査対象 18~79 歳男女個人
- サンプル設計 3000 サンプル(回収ベース)
- 調査時期 毎年1回 10月実施

※『CORE』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■シニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』■

- 調査手法 オフライン・コミュニティ
- 調査対象 65~76 歳男女個人
- サンプル設計 コミュニティ・メンバー数 女性15名/男性8名
- 開催時期 1回 2時間 毎月2回 (見学無料、事前予約制)

※『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-2 0-2
代表者： 代表取締役社長 五十嵐 幹
資本金： 30,000千円
設立： 1968年1月17日
URL： <http://www.rad.co.jp>
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 坂根
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp

■調査内容に関するお問い合わせ先■

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント マーケティングソリューション部 高田
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp